案 内

青山学院創立記念日

11月16日(月)は、学院創立152周年記念日です。学院のルーツをたどると、1874(明治7)年に東京・麻布の本村町に開設されたスクーンメーカーの女子小学校に行きつきます。ドーラ・E・スクーンメーカー(1851～1934)は、23歳の若さで米国のメソジスト監督教会から初めて日本に派遣された女性宣教師でした。彼女は米国で小・中学校の教師をした経験を生かし、小学校、しかも女子教育からその働きを開始しました。

しかし当時の封建的な日本社会は女子教育を行うまで発展しておらず、教具もままならないまま、10畳たらずの部屋に男子を含めて数人での授業でした。やがてそれが、「救世学校」「海岸女学校」と発展し、別に発展してきた「美會神学校」「耕教学舎(東京英学校)」と合流して青山の地で「青山学院」となり、現在に至っています。その間の多くの先達の信仰的な祈りと努力が、今もキリスト教信仰にもとづいた学問教育の伝統となって青山学院に脈々と流れています。

ステューデント・ウィーク

火曜日から金曜日の大学礼拝において、クリスチャンの学生が、どのようにキリスト教に出会い信仰を持つに至ったのか、洗礼を受けてクリスチャンとされたことで、人生観や生き方がどのように変わったのかについて、自分自身の言葉で語ります。また、オルガニスト養成講座を受講する学生が礼拝奏楽の奉仕をします。

青山学院クリスマス・ツリー点火祭～降誕を待ち望む礼拝～

キリストの降誕を祝うクリスマスまでの4週間を、教会ではアドヴェントと呼んでいます。青山学院では、その喜びの季節に入ることを心に刻むために、アドヴェントに入る前の金曜日にクリスマス・ツリー点火祭を行います。授業時間は短縮となりますのでぜひご参加ください。

日　時　11月27日(金)　16時40分～17時20分
　　5時限は17時20分～18時20分の短縮授業となります。

場　所　青山キャンパス　ガウチャー記念礼拝堂前
　　相模原キャンパス　ウェスレー・チャペル前

青山学院大学礼拝週報

2026.11.16.　　神の国節第25週

No.26　ステューデント・ウィーク

教会史の人々［11］

「マザー・テレサ」

Mother Teresa of Calcutta (1910-1997)



キング・ジェームズ版英語聖書復刻版(宗教センター蔵)

マザー・テレサ(本名はアグネス・ゴンジャ・ボヤジュ)はアルバニア人の裕福なカトリック家庭に生まれ、アッシジのフランチェスコの影響をうけて17歳で修道女になる決意をしました。そして38歳までインドのカルカッタにあるロレット修道会の高等学校で地理の教師を務めました。

しかし、ある日乗っていた汽車の中で、「修道院を出て、貧しい人々と共に住んで、その人々を助けるように」という神からの呼びかけを聞いたと言います。それ以降、彼女はカルカッタの貧しい人々のために全生涯を捧げました。「神の愛の宣教者会」「死を待つ人の家」、また「ハンセン病の人たちの家」「平和の村」などを設立し、目の前にいる貧しく困難を抱えた人々のために尽くしました。

彼女の働きの最大の特徴は、社会福祉事業の推進といったものではなく、一人の人のために注がれるキリストの愛の実践に他なりませんでした。それは「傷つくまで愛すること」であり、「いくら与えたかではなく、与えることにどれだけ愛を注いだか」ということを中心としたものでした。その愛の実践に実に多くの人々が共鳴し、現代人に大きな希望を与え続けています。

今年度主題聖句

「よく言っておく。この最も小さな者の一人にしたのは、
すなわち、私にしたのである。」

(マタイによる福音書　第25章40節)

今週の聖句

「キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。」（コロサイの信徒への手紙　第3章15節）

解説：一生懸命になり過ぎて、心のバランスを崩したり、人をやたらと非難したくなったり、逆に自分が落ち込むことがあるかもしれません。そんな時には、大きく深呼吸をして心の中に溜まっているものを思い切り吐き出してください。そして、新鮮な空気と共に、聖書に記されている「キリストの言葉」を吸い込んでください。きっと自分が神に愛されている大切な存在だと知らされて、「キリストの平和」が心の中に広がってくることでしょう。

青山キャンパス／ガウチャー記念礼拝堂
（月～金・10時30分～11時）

11月16日（月）
創立記念礼拝

司式　八木　隆之
説教　髙橋　潤
（銀座教会牧師）

前奏　奏楽　坂戸　真美
招詞
讃美歌　（茶色）352
聖書　マタイ 5:13～16
（新6頁）
説教　**「道は開かれた」**
祈祷
頌栄　（茶色）540
祝祷
後奏

11月17日（火）
司式　森島　豊
証詞　吉村美萌梨
（法学部4年）

前奏　奏楽　文4 五十嵐葉乃
身﨑真理子
招詞
讃美歌　（灰色）120
聖書　コロサイ 2:2
（新362頁）
証詞　**「神様が広げて**
くださった世界」
祈祷
頌栄　（灰色）28
祝祷
後奏

11月18日（水）
司式　島田　由紀
証詞　奥津　恵
（経営学部4年）

前奏　奏楽　清水　奏花
招詞
讃美歌　（灰色）440
聖書　詩編 17:6,7
（旧831頁）
証詞　**“A close relationship**
with God”
祈祷
頌栄　（灰色）25
祝祷
後奏

11月19日（木）
司式　左近　豊
証詞　近藤　風人
（経済学部3年）

前奏　奏楽　文4 小島友梨奈
文3 山田 仁香
松浦　光子
招詞
讃美歌　（茶色）521
聖書　創世記 3:9
（旧3頁）
証詞　**「フクシマのある国で」**
祈祷
頌栄　（茶色）539
祝祷
後奏

夕礼拝／短大礼拝堂
（火・18時30分～19時）

夕礼拝

11月17日（火）
コンテンポラリー礼拝

聖書　Ⅱコリント 4:7
（新323頁）
証詞
「ひび割れから漏れる光」
峯野　陶子
（地球社会共生学部4年）

ワーシップ・ディレクター
塩谷　達也

11月20日（金）
司式　髙砂　民宣
証詞　森島　結
（法学部3年）

前奏　奏楽　文2 村山 柚良
文2 箭内 桜子
徳田　佑子
招詞
讃美歌　（灰色）529
聖書　マルコ 8:22～26
（新75頁）
証詞　**「カルチャーショック」**
祈祷
頌栄　（灰色）26
祝祷
後奏

相模原キャンパス／ウェスレー・チャペル
（月～金・10時30分～11時）

11月16日（月）
創立記念礼拝

司式　大宮　謙
説教　田村　毅朗
（東村山教会牧師）

前奏　奏楽　越川伊豆美
招詞
讃美歌　（茶色）234A
聖書　マルコ 4:30～32
（新67頁）
説教　**「神は生きておられる」**
祈祷
頌栄　（茶色）544
祝祷
後奏

11月17日（火）
司会　REEDY, David W.
証詞　金　昭源
（地球社会共生学部4年）

前奏　奏楽　社1 荒川　誠
徳田　佑子
招詞
讃美歌　（灰色）484
聖書　Ⅰヨハネ 4:11,12
（新433頁）
証詞　**「たった5日間」**
祈祷
頌栄　（灰色）27
黙祷
後奏

11月18日（水）
司式　岩上真歩子
証詞　占部　明
（社会情報学部3年）

前奏　奏楽　コ4 常廣 珠実
社1 前橋 美那
坂戸　真美
招詞
讃美歌　（灰色）358
聖書　箴言 20:24
（旧1001頁）
証詞　**「私の1歩」**
祈祷
頌栄　（灰色）24
祝祷
後奏

11月19日（木）
司式　藤原　淳賀
証詞　久保内真礼
（地球社会共生学部3年）

前奏　奏楽　鷺　晶子
招詞
讃美歌　（灰色）522
聖書　ヨハネ 4:23,24
（新166頁）
証詞　**「まことの礼拝者」**
祈祷
頌栄　（灰色）29
祝祷
後奏

11月20日（金）
司式　和寺　悠佳
証詞　渡辺　あい
（総合文化政策学部4年）

前奏　奏楽　身﨑真理子
招詞
讃美歌　（茶色）521
聖書　詩編 51:9～14
（旧868頁）
証詞　**「雪よりも白く」**
祈祷
頌栄　（茶色）541
祝祷
後奏

聖書（旧）：旧約聖書
聖書（新）：新約聖書

讃美歌（灰色）：讃美歌21
讃美歌（茶色）：讃美歌・讃美歌第二編